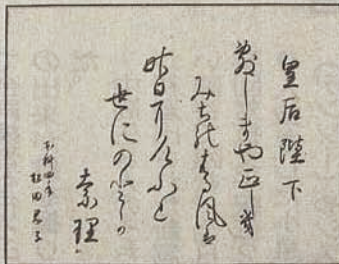




写真①「第二回本科卒業生記念帖」  
(1912年3月、堀川同窓会蔵)



写真②「第一回卒業生記念書画帖 全」  
(1910年3月、京都精華女子中・高蔵)

## 法令制定で正式位置付け

高等女学校(以下、高治32)年に公布・施行されたのです。

女)とは、明治30年代にされた高等女学校令で、各府県に設置され、明た。治末から大正期にかけ、この法令で、高女はそで急増した、女子中等教れまでの「女学校」とは育のための学校です。異なる、国の法令で定め高女を初めて本格的にられた格式の高い女学校定めたのが、1899(明)として正式に位置付けら

同令が施行されてから、これらの高女では、卒業時に卒業記念作品が制作されたようです。作品の体裁は学校によって異なりますが、おおよそ、A3横サイズ余りの画帖が用いられていたと思われ

京都にはすでに京都府

高女(現府立鴨沂高)が

あり、1904(同37)の「第二回本科卒業生記

年には京都府立第二高女

(現府立朱雀高)が開校

します。同時に京都府高

女は京都府立第一高女と

改称、いわゆる「府一」

紙に描かれ保存状態が良

「府二」の誕生です。そ

の、08(同41)年に京

都市立高女(現市立堀川

高)が開校します。

私立では、京都淑女

学校(1953年閉校)、

菊花女学校(1948年

閉校)、精華女学校(現

京都精華女子中・高)が

高女に昇格。中には文中

女学校(現京都女子中・

高)のように、すでに開

校していた私立京都高女

を吸収合併し高女に昇格したケースもありま

◇

今回紹介した作品は、

下京区の学校歴史博物館

(1月4日まで休館)の

企画展「京都の高等女学

校と女学生」で展示して

います(来年3月29日ま

で)。